

只見町の花木鳥魚

町の花 (こぶし)

北国の春を告げる純白で可憐な花です。
昔から豊作祈願の花としても町民に親しまれ、愛されてきました。



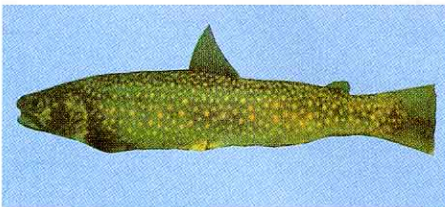
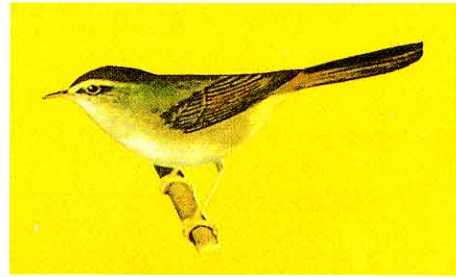
町の木 (ぶな)

厳しい風雪に耐えて群生するぶなの原生林
は水源地として大切です。
町民の不屈の精神と生命力を表します。

町の鳥 (うぐいす)

冬の雪雲の下での生活から、春の青空になったときに美しい声で春を告げるうぐいす。

明るく健康で陽気な町民の姿を表します。



町の魚 (いわな)

清流にのみ棲む幻の魚、太古より
変わらぬ美しい姿は、町の将来に活気
を与えてくれます。

緑と水と心のふるさと——只見町